

東北地方太平洋沖地震等による災害の対応等について

1 地震の概要 (気象庁調べ)

- (1) 発生日時：平成23年3月11日(金) 14時46分頃
- (2) 震源：三陸沖 (北緯38.0度、東経142.9)
- (3) 深さ：約24km (暫定値)
- (4) 規模：M9.0 (暫定値)

2 被害状況

(1) 人的被害 (緊急対策本部 (官邸) 24日 8時00分発表)

死者9,523名 行方不明者16,067名
うち・岩手県 死者2,939名 行方不明者4,947名
・宮城県 死者5,714名 行方不明者6,196名
・福島県 死者812名 行方不明者4,920名

(2) 治山関係被害 (24日15時00分現在、調査中)

11県で208箇所 被害額11,183百万円の山地災害が発生
・茨城県41箇所 被害額3,504百万円 (津波による防潮堤の被災等)
・長野県8箇所 被害額2,250百万円 (山腹崩壊等による被害)
・青森県11箇所 被害額1,849百万円 (津波による防潮堤の被災)
・栃木県43箇所 被害額1,438百万円 (山腹崩壊等による被害)
・福島県63箇所 被害額1,339百万円 (山腹崩壊等による被害)
・新潟県7箇所 被害額424百万円 (地すべり等による被害)
・宮城県10箇所 被害額135百万円 (落石等による被害)
・群馬県4箇所 被害額132百万円 (落石等による被害)
・岩手県16箇所 被害額60百万円 (津波による防潮堤の被災等)
・千葉県4箇所 被害額30百万円 (山腹崩壊等による被害)
・静岡県1箇所 被害額22百万円 (落石等による被害)

(注)岩手県、宮城県、福島県における海岸部等の調査は未着手

(3) 林道関係被害 (24日15時00分現在、調査中)

9県で415箇所、被害額846百万円の林道災害が発生
・福島県191箇所 被害額453百万円 (法面崩壊、路肩欠壊等の被害)
・茨城県86箇所 被害額235百万円 (法面崩壊、路肩欠壊等の被害)
・栃木県77箇所 被害額119百万円 (法面崩壊、路肩欠壊等の被害)
・千葉県1箇所 被害額25百万円 (法面崩壊の被害)
・静岡県6箇所 被害額13百万円 (法面崩壊等の被害)
・群馬県2箇所 被害額1百万円 (法面崩壊等の被害)
・岩手県20箇所 被害額 調査中 (舗装の破損等)
・新潟県1箇所 被害額 調査中 (地すべりによる被害)
・宮城県31箇所 被害額 調査中 (地すべりによる被害)

3 対応状況

- 農林水産省内に緊急自然災害対策本部 (本部長:大臣) を設置 (3月11日15時)
- 政府調査団として治山課井出山地災害対策室長等を派遣 (3月11日～)
- 林野関係被害について迅速な報告依頼及び適切な応急対応等の依頼等について都道府県及び森林管理局に文書により通知 (3月11日22時)

- 政府調査団第2陣として治山課中西水源地治山対策室長及び整備課加藤森林土木専門官等を派遣（3月12日～）
- 北海道森林管理局、東北森林管理局、関東森林管理局及び中部森林管理局がへりによる調査を実施（3月12日、13日、16日、19日）※16日は静岡県富士宮市周辺
- 被災状況の把握と今後の対応を検討するため、林野庁の担当官を長野県及び新潟県へ派遣（3月14日）
- 被災状況の把握と今後の対応を検討するため、林野庁の担当官を栃木県へ派遣（3月15日）
- 被災状況の把握と今後の対応を検討するため、専門家、長野県及び中部森林管理局等による現地調査を実施（3月15日）
- 被災状況の把握と今後の対応を検討するため、森林総研の専門家等を宮城県へ派遣（3月23日～）

東北地方太平洋沖地震等による被害状況



- とおかまちし
○ 新潟県十日町市
- ・地すべりによる被害 ・被害額：171百万円
 - ・人家裏の地すべりにより家屋全壊1戸等の被害が発生。



- しらかわし
○ 福島県白河市
- ・山腹崩壊による被害
 - ・被害額：12百万円
 - ・人家裏の山腹崩壊により 家屋全壊1戸等の被害が発生。



- さかえむら
○ 長野県栄村
- ・山腹崩壊による被害
 - ・被害額：1,000百万円
 - ・山腹斜面が崩壊し土砂が流出。下流のJR、国道等へ被害の恐れ。



- ほこたし
○ 茨城県銚田市
- ・津波による防潮工の被災
 - ・被害額：300百万円
 - ・津波により防潮護岸工に亀裂が発生。



- なすからすやまし
○ 栃木県那須烏山市
- ・地すべりによる被害
 - ・被害額：200百万円
 - ・地すべりにより河道が閉塞したが、応急対策済。